

平成28年度川崎市地域自立支援協議会第1回全体会議 摘録

日 時：平成28年5月27日（金）13：30～16：00

場 所：川崎市国際交流センター2階 第4.5会議室

出席者：行實会長、大場副会長、大窪委員、田口委員、土屋委員、西巻委員、日野委員、美和委員
※小川委員欠席

事務局：坂本、小川、野末、中里、佐治、島津、若井、野原、江口、牧田、鈴木、淵上、大森
川上、林田

行 政：地域包括ケア推進室佐藤室長、地域包括ケア推進室岩丸担当課長
川崎市精神保健福祉センター上野・横岸澤

傍聴者：1名

1 開会あいさつ

（佐藤室長、岩丸課長より資料確認及び開会のあいさつ）

2 委員・事務局紹介

3 会長・副会長の選任について

（会長は行實委員、副会長は大場委員を選任）

4 川崎市地域自立支援協議会の今後2年間の方向性について

（企画運営会議構成員より、次の資料に基づき説明。）

資料1「川崎市・各区地域自立支援協議会目標等一覧」

（各部会事務局より、次の資料に基づき説明。）

資料2「精神障害者地域移行・地域定着支援部会（仮）の設置について」

質疑応答

委員	退院促進事業の時からカシオペア、当事者、医療機関、ピアサポーターの方、一生懸命努力をされてきたと思うが、せつかく地域に戻っても定着できない方もいらっしゃると思う。そこで一つ聞きたいのが、地域に定着できなかった方の理由や経過を知りたい。
事務局	今手元に具体的な数字がないが、約140名弱の方の支援をしている中で30名ほどの方が中止になっている。主には病状の問題、その他相談の問題があると思う。ただ、もっとこまめな支援、ご本人中心の地域での受け入れ、支援体制があれば継続できた方達もいると思っている。
会長	他に質問等あるか。
委員	精神障害者地域移行・地域定着支援部会のことで伺いたいことがある。去年まで行っていた内容について専門部会を設置するということだが、対象としては精神障害の方の地域移行・地域定着に限られるのか、軽度の知的障害発達障害をお持ちの方もいて地域移行の対象はもう少し広いと思うが、今後の議論の中で深めていって頂きたいと思う。

事務局	今年度については、精神科病院からの地域移行のみということか。 今年度は、精神障害者の方が対象の内容になる。入所施設からの地域移行の課題もあるが、それに関しては全市の課題として整理を行った時に部会で取り組む可能性はある。また部会の中でそういう声が上がればこの場で報告させて頂きたい。
会長	共通課題という部分が精神障害者だけではなく発達障害や高齢者と色々あると思うので今後も広げていって頂けると良いと思う。

5 各区地域自立支援協議会について

(資料3-1から資料3-7に基づき川崎区より順番に説明。)

各区の協議会の取り組みについて質疑応答

委員	幸区の一言タイムというのはいかにどのように実施しているのか。
事務局	構成員全員は難しいので事務局で何名か想定し、現場で困っていることや社会資源の情報も含めて話をして頂く。課題について話してくださいという敷居が高くなってしまっているので、話やすい雰囲気作りをしている。なるべく構成員全員に一年間で一回お話しして頂けるようにしている。出てきた話については課題整理ワーキングで精査し、課題となった場合は更に聞き取りを行い、落とし込んでいくことを想定している。
会長	他にあるか。
委員	同じく幸区について、児童委員会の父親が参加していただけるイベントを開催しているということだが、参加状況はどうなっているのか、また放課後等デイサービスで配布したいが川崎区は母子家庭が多く抵抗を感じた。他の区ではそういったことがなかったのか聞きたい。
事務局	参加状況について、今年度で開催4回目だが、昨年度までの例でいうと毎年参加している方、初めての方等様々であり、人数は多くないが1回辺り7.8組み参加して頂いている。お父さんに限定しているところで、確かに学校関係に広報をお願いすると難しいと断られている経緯はある。市政だよりや後は直接放課後デイサービスや児童関連の施設へ連絡し、チラシとポスター設置をしてもらっている。お母さんと子どもでの参加の問い合わせは何件かあるが、趣旨が違ってきてしまうため、なるべくお父さんとして案内し、どうしてもということであればその都度協議をして、一部参加できないプログラムがある旨を説明している。
会長	他にあるか。
委員	川崎市全体会議を長くやっている中で、各区の性格が見えてきているのだが、その中でも共通する部分で支援が行き届かない人、支援を知らない人が多くいる。私もそうだが、調子が悪い時は、ふれあい等どこに相談したらいいかなどの情報が載っているものに目を通す心の余裕がないことがある。支援に繋がっていない人達への一番良い広報手段は私には思いつかないが、埋もれてしまっている人達に光が当たるような協議会及び社会資源であれば良いと思っている。
会長	サービスは一番必要な所に届きにくい側面があり、今後の共通課題である。
委員	中原区の児童委員会の部分で、『お願い』『いいよ』が言える関係作り』について説

事務局	<p>明がなかったため、内容を聞きたい。</p> <p>支援者同士、親御さん同士、それぞれがよりお互いの事業内容なり活動内容を知り合い、例えば求められる支援内容に対して自分の事業所の得意とする分野でなければ、他の事業所を紹介できる関係性を作ればということ。</p>
会長	<p>相談支援の中で、サビ管や相談支援専門員が積極的に取り組まなければいけないケースも多くあるが、自分だけで抱え込まないという体制作りを意識することも必要。</p>
委員	<p>高津区の短期目標で、委員会の取り組み繋がりを共有するとあるが、こういった形で実施するのか。</p>
事務局	<p>定例会にて報告を行っていたが、なかなか周知に至らず各委員会の動きが見えないとあるので、出来る限りではあるが、例えばみんなの居場所づくり委員会でイベントを開催する時に、今まで自分たちだけで運営をしていたところを他の委員会の人にも手伝ってもらい、お互いを知っていくという形を考えている。</p>
会長	<p>他に意見感想はあるか。</p>
委員	<p>高津区の当事者ボランティアの仕組み作りのところで、販売の他、ボランティアの募集はどうやって行ったのか。</p>
事務局	<p>募集については、社協が開催しているボランティア育成講座を協賛させて頂いた時に、ボランティア団体を立ち上げた参加者であったり、個人的にボランティアをしたいという方に声掛けをしている。販売について、当事者募集を大々的に行えなかったのは反省としてあるが、相談支援センターに登録のある相談者の方や区役所で定期的に面談をされている方に声掛けしている。また人を集めるにも目標がないと集まらないので販売会を設定し、実施した。その中で当事者の方から一年間の活動を通して色んな人と出会えたが、それ以上交流が深まらない、深めていきたいという声があがり、定例会を2.3ヶ月に一回行うという話が出ている。</p>
会長	<p>他に意見感想はあるか。</p>
委員	<p>宮前区児童委員の教員や保護者に向けた研修で対象は学校全体ということか。また研修の内容について知りたい。</p>
事務局	<p>学校向けは昨年度、麻生養護学校にて横浜市行政にも協力頂き、保護者の方に生徒の説明をするにあたり、押さえておくポイントの教職員向け勉強会を行ったのが一つ、保護者向けの学習会では学齢期を対象にした形でテーマを決めて意見交換をしようという企画ではあったが、学齢前や学齢期を卒業したばかりのお母様などがピアサポート的な役割を担って想像以上の効果があり、是非続けていこうということになった。</p>
委員	<p>保護者向けの時の広報の仕方についても知りたい。</p>
事務局	<p>公的な形で流すと、学校の壁が厚いということもあり学生さんのお母さんたちが知っている先生達を通して直接掛け合っていたり、協議会のホームページで広報している。広報の仕方についてはまだ検討中である。</p>
会長	<p>他に意見感想はあるか。</p>
委員	<p>多摩区のお助けカードを27年度増刷しているとのことだが、実際使用した方からの感想や意見はあったのか。</p>

事務局	お助けカードは 23 年度からスタートしており、作った翌年には聞き取りを行っている。その時には災害時などにこういうカードがあると助かる、また外出時にも使用できるという意見があり多摩区内のとある法人では、お助けカードを活用した外出支援を行っているところもある為、活用出来ているひともいる。現在も総務課から増刷依頼もあり数は出ているが、調査に関しては昨今行っていないので分からない。書式はホームページにも掲載している。
会長	今後調査の予定はあるのか。
事務局	持ち帰りの課題としたい。
会長	他にあるか。
委員	防災フェアについて、どういった人達がどういった形で参加されたのか。
事務局	各区でも開催されていると思うが、参加団体の一つとして取り組みやお助けカード、どういう時に障害者の方が困るのか等展示した。防災委員会が当番で行っていた。防災訓練については、昨年宮前区で回刺された総合防災訓練に見学という形で参加した。
委員	災害の事は大変気になるので参加されたと思ったのだが。
事務局	取り組もうと思っていたが、なかなか上手くいかず、実は防災委員会は発足して 5 年経つが地域の防災訓練への参加には至っていない。今後の課題としたい。
会長	他になにかあるか。
委員	麻生区について当事者の参加はあるのか。
事務局	説明が不足して申し訳ない。当事者の参加はある。ページでいうと 57～58 ページに所属がないということで空欄になっているが、こちらの方々が当事者またはご家族ということでご参加頂いている。
委員	どの様なことに取り組んでいらっしゃるのか。
事務局	こちらの一覧表の名前横に書いてある内容に取り組んで関わって頂いている。麻生区の特徴として身体障害者の方が多く関わっている。
委員	ピアサポーターはどのような方がなられているのか。
事務局	歴史がだいぶ古いところの話になるが、かつて自立支援協議会と別のところでピアサポートは発足していたところを自立支援協議会が巻き取ったという形になっている。過去に療育センターに関わっていた方達を中心にお声掛けをさせて頂き、現在まで活動を続けて下さっている。その他、お子さんが成人された方が多い。

6 その他

特になし

7 閉会

(閉会あいさつ) 地域包括ケア推進室岩丸担当課長

以上